



今日のトピック

- ✓ 都市計画道路の完成で便利になったのか
- ✓ 旧保谷庁舎・旧市民会館・旧ひばり中解体へ
- ✓ 市長にコロナ対策の緊急要望書を提出
- ✓ こどもかわらばん 「のこった給食はどうなるの？」

01 都市計画道路の完成で便利になったのか

8月2日に北原町2丁目から西原町3丁目まで、9月10日に西原町4丁目から東久留米市南町1丁目までの道路が開放されました。交通開放直後に大渋滞となった六角地蔵尊交差点は信号サイクルの変更等により改善したように思われますが、未開通の区間が残ることもあり、**より渋滞するようになったという声、横断歩道がなくなり不便になったという声**もいただいています。

なお、南北に分断された東大農場通りとの交差点については、**安全に横断できるよう横断歩道か注意喚起看板等の設置**を求めました。その他のことでも、担当課を通じて警察等へ要望しますので、お気づきの点があればお知らせください。



02 旧保谷庁舎・旧市民会館・旧ひばり中解体へ

9月議会で工業者が決まり、解体が始まります。工期は、旧保谷庁舎と旧市民会館は令和4年7月29日まで、旧ひばりが丘中学校は令和5年3月17日までの予定です。旧ひばり中は住宅街の中にあり、谷戸住吉通りを通る搬入搬出のルートが長くなることなどから工期が長くなっています。

旧保谷庁舎については、田無庁舎があとどれくらい使えるかの調査(耐力度調査)をし、庁舎統合方針の見直しをした上で跡地の活用期間が決まります。なお、市民課や福祉の窓口業務はすでに防災・保谷保健福祉総合センター1階に移っており、**保谷側の敷地から市役所機能がなくなるわけではありません。**

活動報告

7月から9月にかけての
田村ひろゆきの活動をご紹介します



地方議会サミット参加



東久留米市内で講演



夏休み恒例の高校生インターンシップを受け入れ



夏休みに限らずインターンシップをいつでも受け入れます。1日でも構いません。「議員って何してるんだろう？」と思った方はお気軽にお問い合わせください。

西東京市議会議員 田村ひろゆき

2018年12月初当選。無所属1期目。1978年7月西東京市向台町生まれ。上向台小、田無第一中、中央大学杉並高、中央大学法学部政治学科卒。元旅行会社社員、武蔵野大学職員、衆院議員秘書。議員インターンシップの運営を柱に若者の政治参加を進める活動に20年以上関わってきました。政治を少しでも身近に感じてもらえるよう、取り組んでまいります。

090-9686-4581

info@tamura-h.net

http://tamura-h.net

@tamura__h(アンダーバー2つ)

@tamurahiroyuki.nishitokyo

@tamurahiroyuki.nishitokyo



いいね！西東京

市政報告かわら版は、議会翌月の1・4・7・10月発行予定です。

こども かわらばん

のこった給食(きゅうしょく)は どうなるの？



新型(しんがた)コロナウイルスが流行(りゅうこう)して、
がっこうがきゅうにやすみになったり、オンラインじゅ
ぎょうになったりしました。給食をつくるための材料
(ざいりょう)があまったり、せっかくなつた給食がのこってしまった
らどうなるのでしょうか。市議会(しぎかい)でこのことをしつもんしたら、
「**農業(のうぎょう)などにつかう土(つち)にリサイクルするので、ゴミ
にはなりません**」というこたえがかえってきました。

おとのかたへ：
9月に実施したオンライン授
業では事前に出欠のアンケ
ートを取り、可能な限り調理
量を減らすなどの対応もしま
したが、一定のロスは出てしま
いました。廃棄食材は土木や
農業に活用される「人工軽量
土壌」にリサイクルされると
のことですが、SDGsの視点
からも食品ロスを少しでも減
らせるよう求めています。

03 市長にコロナ対策の緊急要望書を提出

8月5日に、市独自の自宅療養者の支援体制の構築やPCR検査体制の拡充等を求める「市内における新型コロナウイルス感染者の急増に伴う緊急要望書」を、8月20日に「プレミアム応援券(お食事券)の2次販売を中止し、市民の命を守る取り組みを最優先することを求める要望書」を有志議員により提出しました。要望した項目のうち、**自宅療養者の支援については、8月26日から食料品などの配布、9月3日からパルスオキシメーターの貸し出し**が、東京都のフォローアップセンターからの支援が届いていない方への緊急支援として実施されています。



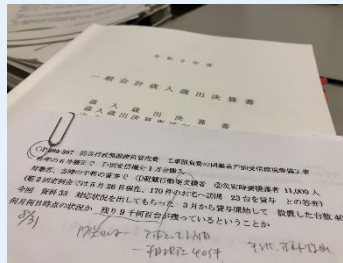
■2つの陳情のゆくえ

9月議会に出されていた陳情のうち、ゼロカーボンシティ宣言を発表し、2050年までに温室効果ガスの排出を実質ゼロにすることを市の目標に掲げることを求める「**気候変動対策に関する陳情**」が**全会一致で採択**されました。議会としてはこの処理の経過と結果の報告を請求することになります。

一方、「**核兵器禁止条約の署名、批准を日本政府に要請する意見書提出に関する陳情**」は**自民・公明の反対により不採択**に。委員会では、すでに全国で600近い地方議会が同様の意見書を採択している、西東京市は非核・平和宣言都市であり、議会としてもそれに準じた動きをすべきだという賛成意見が出され、私もその通りだと思いましたが、残念の一言です。

答弁訂正で2時間40分 委員会がストップ。 ~守りたかったものは何なのか~

決算特別委員会で、昨年度国の交付金を活用して購入した防災行政無線戸別受信機1万台の配付状況を確認したところ、8月末現在でわずか40台しか設置が進んでいないことがわかりました。このままのペースでは大量の戸別受信機が眠ったままになってしまいます。関係部署、警察、民生委員等と連携して加速させるとのことだったので、速やかに動いていただきたいと思えます。



この質疑を終え2時間以上経過した頃、危機管理部長から「誤解を招く表現があった」として委員会が休憩に。私が担当課の認識を問うた質問への課長の答弁を訂正したいと言い出しました。言い間違いや事実誤認、公にすべきでないプライバシーに関わることなどであれば取り消しや訂正はわかりますが、担当としてどう考えるかという質問に率直に答えた内容がなぜ問題となったのか。結局「課題があったと認識している」という答弁に修正することになりましたが、この間2時間40分も委員会が止まりました。そこまでして執行部が守りたかったものとは一体何なのか。不可解です。きれいごとしか言えない議会では、本音の議論はできません。

■池澤市長、3か月間50%減給に

令和2年度における介護保険料の特別徴収誤りなどの不適切な事務執行で、市民・市議会との信頼関係を損なった責任を改めて示すとして提案されました。私は質疑で、「減給で責任を果たしたということではなく、事務処理の体制をこう変えたと市民に示すことが必要」と指摘しました。

「議会トーク(議会報告会)」今回はオン・オフ両方

日程① 10月20日(水) 19時00分~20時00分 @コール田無4階 会議室B
日程② 10月24日(日) 10時00分~11時00分 @ZOOM (オンライン開催)

①に参加の方は、事前の検温と体調確認、マスクの着用にご協力を。
②は**事前申込制**とさせていただきます。田村ひろゆきのHPまたはお電話、メール等でお申込みください。

編集後記/衆院選について

いよいよ衆議院議員選挙が近づいてきました。まずは一人でも多くの方に投票に行ってもらいたいと思います。私は無所属の立場ですが、安倍政権以降自公政権が長く続き、おごりが生まれ、緊張感がなくなったのではないかと、今こそ野党勢力の奮起を期待したいと考えています。

